

小規模企業景気動向調査

[平成31年4月期調査]

～季節要因・GW 効果を取り込み 2 か月連続の回復となった小規模企業景況～

2019年7月11日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約 300 商工会の経営指導員

調査時点：2019年4月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…季節要因・GW 効果を取り込み 2 か月連続の回復となった小規模企業景況…◇

4月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況 DI (景気動向指数・前年同月比)、売上額 DI、資金繰り DI は2か月連続で改善した。今年の GW は 10 連休ということもあり、観光業を中心に需要の取り込みに動きが見られた。一方で、長期の休みのため、資金繰りが厳しいとの声や解消されない人手不足等によるマイナスな影響を受けているとの声もあった。

<製造業> ◇…機械金属を中心に好調さが見られるも、取扱内容により明暗が分かれた製造業…◇

製造業は売上額 DI がわずかに改善したものの、業況 DI、採算 DI、資金繰り DI は先月と比べ悪化した。採算 DI の悪化幅は大幅であった。経営指導員からは機械金属に引き続き好調さが見られるとの報告があった。同じ製造業の中でも自動車部品、PC 部品・半導体、工作機械、建築部品には軒並み堅調であったが、食品、非鉄金属、飛行機部品については、原材料の供給量が減少し仕入単価が上昇しているとの報告があった。また、物流費の高騰や外注による人件費高騰もあり、苦しさの残る月であった。

<建設業> ◇…企業間格差が増大し、工事確保のため越境を余儀なくされている建設業…◇

建設業は、資金繰り DI がそわずかに改善したが、業況 DI は横ばい売上額 DI がわずかに、採算 DI が小幅に悪化した。人手不足への対処として、外注費が増えてきており仕事量が増えれば増えるほどジリ貧になっている。また、公需・民需共に大手メーカーやゼネコンと結び付きの強い業者は、ある程度工事数を確保できているが、確保できない業者は工事需要のある地域に越境しなくてはならない事態に陥り、採算が悪化しているとの報告があった。建築材料のコンクリート価格が上昇しつつあるが、大きな影響は現状出ていない模様である。

<小売業> ◇…消費税や季節要因で動きが出るも、業種全体には影響が及ばない小売業…◇

小売業は、先月から一転、全 DI とも改善した。業況 DI と売上額 DI の改善幅は小幅であった。今年 10 月の消費税増税を見据えて白物家電や時節柄、入学・入社シーズンと重なり、関連した小売業では売上が増加している。一方で、自動車小売業では、高級車と低価格車の販売は順調だが、中価格帯の売上が低調との声があった。また、昨年の北海道の大雨被害により小豆価格が上昇し、端午の節句需要のある和菓子小売業に悪影響を及ぼしているとのコメントがあった。

<サービス業> ◇…GW 需要から観光業を中心に売上を伸ばすも、事業所間格差が発生しているサービス業…◇

サービス業は小売業と同様、すべての DI が改善し、改善幅は業況 DI と売上額 DI では小幅であった。原油価格上昇で影響を受け全体的には厳しい理美容業であるが、ヘアカラー等の客単価上昇につながる商品を提供している店舗では売上を伸ばしているなど、業種を問わず事業所間格差が広がっている。また、GW 需要で客の取り込みに忙しい宿泊業でも、顧客のニーズが低価格帯に集中し、高価格帯の客離れが進み、夕食サービスの抜き安価な料金体系を備えなければ客の取りこぼしが発生しているとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 11.3	▲ 8.7	2.6	▲ 8.7	▲ 7.1	1.6	6.9	6.5	▲ 0.4
採算	▲ 14.4	▲ 15.7	▲ 1.3	▲ 11.4	▲ 16.8	▲ 5.4	▲ 4.8	▲ 9.2	▲ 4.4
資金繰り	▲ 11.0	▲ 10.7	0.3	▲ 7.4	▲ 10.9	▲ 3.5	▲ 7.3	▲ 5.7	1.6
業況	▲ 14.7	▲ 13.3	1.4	▲ 13.6	▲ 14.4	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.4	0.0

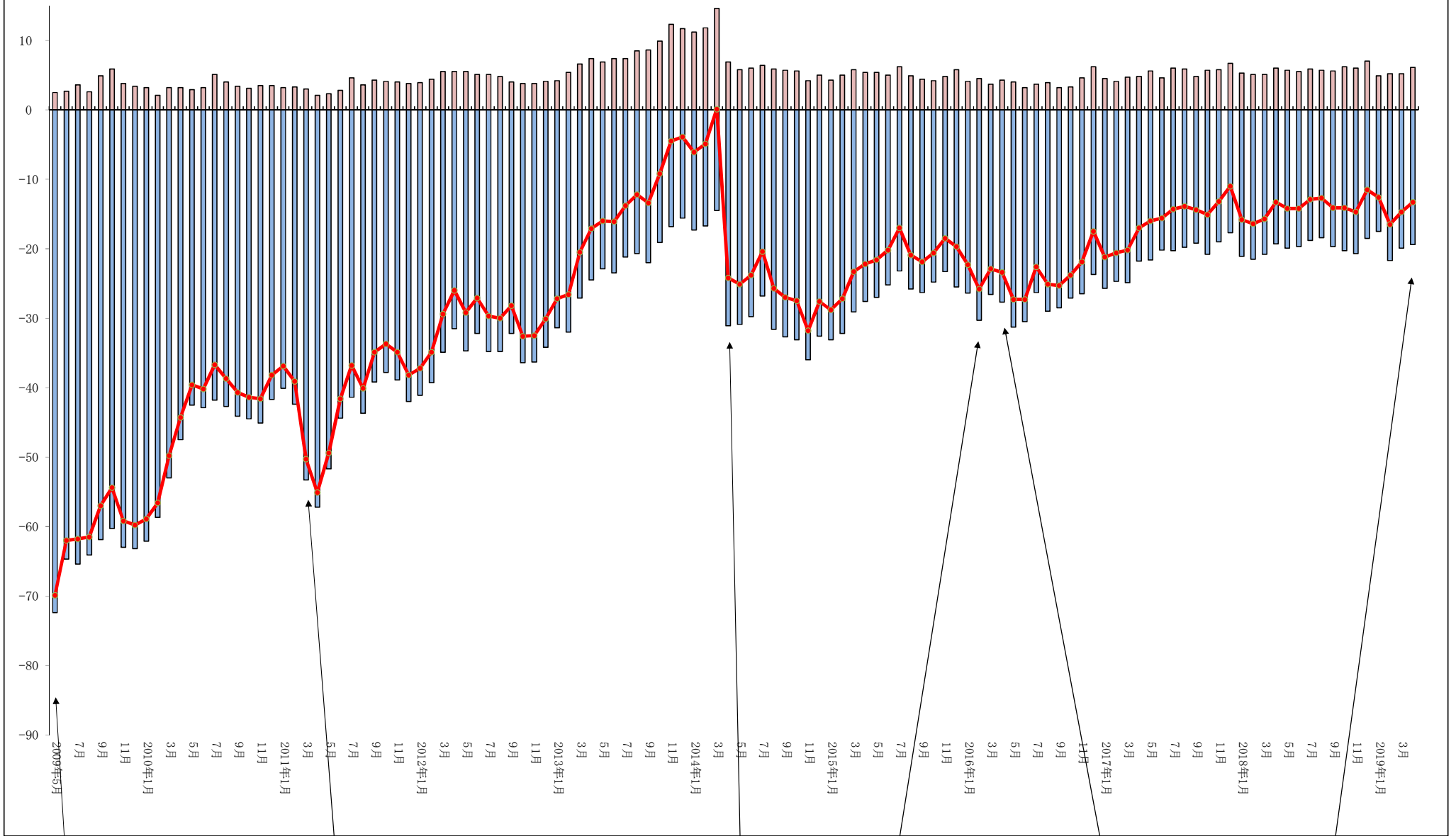
業種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 27.3	▲ 23.1	4.2	▲ 16.1	▲ 11.2	4.9
採算	▲ 27.0	▲ 24.3	2.7	▲ 14.6	▲ 12.5	2.1
資金繰り	▲ 18.5	▲ 17.0	1.5	▲ 10.7	▲ 9.1	1.6
業況	▲ 28.9	▲ 25.6	3.3	▲ 15.8	▲ 12.8	3.0

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加 (好転) 企業割合から減少 (悪化) 企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



09年5月
過去10年間最低数値
(-69.9)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス金利導入

16年4月
熊本地震

19年/4月
-13.3

小規模企業景気動向調査(4月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・大型連休前ではあるが、既に観光客で活気づいている。外国人の割合が年々増加傾向である。
(広島県宮島町商工会)
- ・渋沢栄一翁の新札デザイン決定の報道以降記念館や生家への来訪者が増加して賑わっている。近くの飲食店へ流れ込んでるので売上が増加している。しかし、全体的には経済効果はほとんど表れていない。
(埼玉県ふかや市商工会)
- ・基幹産業が観光サービス業と内航海運業であるが、観光サービス業や小売業については、春から秋にかけて、観光客等(宿泊・日帰り)が増加するので、経済波及効果が期待できる。日本政策金融公庫や地元金融機関の貸出状況は概ね良好と思われる。
(熊本県上天草市商工会)
- ・全業種で大型連休による影響を受けている様子。製造業は前倒しの発注による出荷増で一時的ではあるが売上が増加した。また、サービス業では旅行や外食など個人消費を中心として需要が拡大。一方、建設業では連休期間中の人手不足や工事関連の停滞などがあり負担を感じているようだった。引き続き人手不足や原材料高騰や消費税増税など問題を多く抱えているが、少しでも負担を軽減できるよう支援を進めていく。
(秋田県由利本荘市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・大型連休で月給制の給与体系の会社においては5月の売上額が減少するため資金繰りの悪化が懸念される
(秋田県仙北市商工会)
- ・管内の景況は、持ち直し感はなく厳しい状況にある。金融緩和状況も減少傾向にあり、利用者がいない。金融機関は折り返しの事業所に積極的だが新規先はない状況。
(茨城県日立市十王商工会)
- ・小規模な店舗については、依然経営が厳しく後継者もない状況にある。特に過疎と呼ばれる地域では、お店自体が少なくなり、特に食料品小売業は県外資本のスーパーマーケットの影響を大きく受けている。資金需要自体が少ないことから貸出態度は良好である。
(石川県羽咋市商工会)
- ・年度末の公共工事等により建設業界は売上増加見られたが、商業関係の業界は資金繰りが若干ではあるが悪化している傾向である。
(茨城県潮来市商工会)
- ・地域全体としては、建設業が従前どおり業務もあり順調に売上を伸ばす事業所が多くみられるものの、人手不足は深刻である。
人手不足感についてはどの業種も共通の課題のように見受けられる
(広島県広島安佐商工会)

高齢化の影響から消費の冷え込み、店舗の閉鎖が相次いでいる。
逆に、新規開業を行うものも少数だが存在するものの、成功例と失敗例の二極化が激しく感じられる。
ただ、既存店舗の売上は減少または不変だが、採算性を見直しなどで利益率の改善を図る試みに関しては良好な結果を残しているように見える。
運営資金、設備資金の貸し出しに関しては長与町は独自の制度を実施しており、その関係で金融機関からの貸し出しは割合積極的に思われる。
一方、創業資金の貸し出しも行ってはいるが、創業者の無計画性が目立つ場合が多く、金融機関への相談の後、商工会との相談を促される場合がほとんどである。

(長崎県西そのぎ商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・PC部品製造業は高い需要が続いており良好な稼働状況である。
(宮城県みやぎ北上商工会)
- ・菓子関連製造業は10連休前の需要に加え、節句祝いに向けての早期需要があり、活気付いている。
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・金属製品製造業では、デベロッパーや鋼材・鉄骨業者からの受注が堅調なため、工場は高い稼働率で推移している。来月には更なる生産性向上に向けて新たな設備投資を行う予定となっている。
(岡山県岡山北商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・機械金属関連の製造業は、引き続き好調を維持しているが、取扱製品によっては景気減速傾向の影響を受けているものもあるようである。
(山形県寒河江市商工会)
- ・和菓子関連の製造業は、材料高になっているが、売上には転嫁できていない状況になっている。
(兵庫県丹波市商工会)
- 特殊な機械金属製造業では、売上額は増加傾向にあるが、仕入単価が急上昇しており、業況は悪化傾向にある。
(埼玉県志木市商工会)
- ・アメリカと中国との貿易摩擦の影響が国内にも現れ始め、金属加工や機械製造分野において受注量が減少し始めている。
(愛媛県東温市商工会)
- ・水産加工業者は原料不足による仕入れ価格の高騰により採算が悪化している。機械部品製造業は、大きく受注は減ってはいないが下請け企業が多いため今後の見通しは見えない。
(岩手県大槌商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・大手ハウスメーカーからの受注により一部建築業者は安定した売上の確保を実現している。
(岩手県矢巾町商工会)
- ・造園関連の建設業は、消費税に備え、設備の刷新を前倒しで行おうとしている。
(兵庫県太子町商工会)
- ・年度が替わり、年度に関わる公共工事等は一息ついている業者もいれば、継続して多忙な事業者もあり、他業種にくらべて一番状況が良いと思われる事業者が多い。
(広島県広島安佐商工会)
- ・住宅や造園等に関する建設業は、変わらず需要が多く引き合い多数。
コンクリ価格の上昇によりコストは上がっているが、必須材料のため売上には影響していない模様。
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・建築関係は新築・リフォームとも消費税がらみの駆け込み需要からか受注高も前年比で増加しているようである。
(鹿児島県屋久島町商工会)
- ・建設業に関しては、住宅建築業については、大手メーカーに負けないう、地域小規模零細企業の頑張りをを感じる。当該地区では、地域の人と人のつながりが大切な業界であることから、大手メーカーに十分対抗が可能と思料する。
(茨城県筑西市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・建設関連工事は年度始めでの公共工事等の受注高などで前年比を若干上回る事業者が多い。住宅着工数の伸び悩みが長期化しており、停滞が改善されないままとなっており、工務店は苦戦を長く強いられている。
(兵庫県川西市商工会)
- ・建設業界全体に人手不足感が強い。若年従業者が建設業以外の業種に転職することも多い模様。ただし消費税増税前の住宅建築駆け込み需要は殆ど見られない。
(静岡県富士市商工会)
- ・売上前年比は同等か微減、増税前の駆け込み需要もまだ感じられない先行きも厳しい。人手不足による受注制限や働き方改革による労働時間調整での売上減を懸念する事業所が増加。中低層マンションの型枠を担当する業者は同市内の物件はゼロで秋田市や横手市・大仙市等へ出向いている。同業者は関東方面まで仕事を求めている状況。
(秋田県由利本荘市商工会)
- ・特に大きな変化は見られないようである。建設・建築業者については、消費税増税に係る顧客との契約内容等で従来より手間がかかっているようである。
(福岡県福津市商工会)
- ・消費税増税を控え住宅需要は高まっているが、主に建売の需要が高く、注文受託を主とする工務店は苦戦。また、給付金等の措置が拡充されることが見込まれる為、前回ほどの駆け込み需要は起きていない。
(栃木県大平町商工会)
- ・昨年に引き続き請負受注は安定しており、忙しい状況が続いている。建材の仕入れ単価が上昇傾向にあり、請負高は大きくとも利益を圧迫しつつある。
(京都府京丹後市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

- ・消費税増税を見据えてか、家電販売が伸びている。
(佐賀県基山町商工会)
- ・衣料品、耐久消費財関連の小売業は競争相手の減少により売り上げ増加となっている。食料品小売業は仕入れ価格の上昇で採算悪化がみられた。
(沖縄県嘉手納町商工会)
- ・食料品系の小売業は10連休前の買出しや、用事を済ませてからのついで買い需要が多く、好転している。
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・韓国人観光客が多い対馬南部の厳原地区と北部の比田勝地区の小売店等では、インバウンド需要に対応するキャッシュレスの勉強会を行なうなど、キャッシュレス対応機器の導入に向けた動きが見受けられる。
(長崎県対馬市商工会)
- ・衣料品関連の小売業は、令和改元イベントに向けた特需(お祭り用品)がみられる。
(山形県寒河江市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・衣料(呉服)・・・高齢者の客が多く伸び悩んでいる。
食料品(和菓子)・・・昨年の台風の影響で材料(小豆)価格が50%以上上昇し、仕入単価の高騰に繋がった。
耐久消費財(車)・・・良くも悪くもない業況。消費税の影響(需要の前倒し)もない。
(滋賀県野洲市商工会)
- ・衣料小売店は学校の制服販売等により若干売上の増加を図っているが、安定した利益確保にはつながらず
(岩手県矢巾町商工会)
- ・コストカットの関係から、文房具屋や食料品関係の小売業は行政からの発注が減少傾向にあり、売上が減少する事業所が見られる。
(群馬県群馬伊勢崎商工会)
- ・衣料品は、天候が悪い日が多く、売上に響き減少傾向にあるとのこと。綿製品も価格が上昇しており、業界全体に悪いとのこと。
食料品は、創業2年目で新しいため、昨年より増えてきているとのこと。
耐久消費財による車両は、高級車と低価格車が売れており、ミドルクラスが出ない。格差が感じられるとのこと。
(静岡県浜北商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

- ・町内を散策する花見客や団体客が多く飲食関連は堅調に推移。宿泊業も大型連休は予約が多い状況
(宮城県みやぎ北上商工会)
- ・食料品系の小売業は10連休前の買出しや、用事を済ませてからのついで買い需要が多く、好転している。
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・理美容業で、オーガニック染料の使用など利用者の安全に配慮した美容を行うなど、独自性の高い取組を行う事業者がある。各事業者の差別化の取組を更に支援していきたい。
(静岡県富士市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・事業所間格差が広がっている。すなわち経営努力が実っている事業所は大きく売り上げを伸ばしており、うまくいっていない事業所は売上を大きく落としている。これは消費者による資金の「選択と集中」が進んでいる(使うところは大きく使い、使わないところは徹底的に使わない)ことの表れのように思われる。
(福岡県宇美町商工会)
- ・旅館関連のサービス業は、原子力発電所の稼働停止なども受け、ビジネス客における宿泊が低迷している。
洗濯関連のサービス業は、人口減少に加えホワイトカラーの就業者数の減少から売上が減少傾向にある。
(石川県羽咋市商工会)
- ・宿泊関連のサービス業は、チェーン店ホテルやゲストハウスなど安価で宿泊できる施設が増加しているため、既存の宿泊施設でも夕食がない安価な料金形態が人気となっている。
(岐阜県高山西商工会)
- ・洗濯業関連のサービス業は、石油値上がりの影響が顕著で利益が減少。また、最近は布団などの受注が減少。
(家庭で洗えるものの普及や、コインランドリーの大型化が影響)
(栃木県大平町商工会)